

大阪府マーケティング・リサーチ「おおさか Q ネット」

1. 調査の背景と目的

- ・2019 年に開催された G20 大阪サミットでは、2050 年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロにする「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有。
- ・府においては、2019 年 1 月に「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」を大阪市と共同で実施し、プラスチックごみの削減を推進する必要がある。
- ・一方、新型コロナウイルス感染症の拡大や、本年 7 月に開始されたレジ袋有料化などにより、マイボトルやマイバッグに対する府民の意識やニーズは大きく変化。
- ・今後、府民ニーズを把握した上で、マイボトルやマイバッグの利用を促進する効果的な施策を実施し、使い捨てプラスチックの 3R をさらに推進するため、本調査を実施。

2 調査対象

大阪府在住の 18～90 歳までの男女、
各世代（18～29 歳、30 代、40 代、50 代、60 代以上）200 サンプル（男女均等割）、
計 1,000 サンプル

3 質問内容

「海洋プラスチックごみ問題への認知度・意識」

- Q1 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」（内容）の認知度
- Q2 海のプラスチックごみの原因に関する府民の意識
- Q3 プラスチックごみのさらなる削減に対する府民の意識

「マイボトルの利用に関する意識」

- Q4 マイボトルを使っているか
- Q5 マイボトルに飲料を補充できる施設・サービスが外出先の近くにあるか
- Q6 マイボトルに飲料を補充できる施設・サービスに関する情報を見たことがあるか
- Q7 【マイボトルを使っている人】外出先で、マイボトルに飲料を補充したことがあるか
- Q8 【補充したことがある人】飲料を補充するとき重要視することは何か
- Q9 【補充したことがない人】その理由

4 調査時期

令和 2 年 8 月